

## 参考資料

- 1 健康づくり推進課、各区役所保健子ども課等が実施する事業
- 2 熊本市歯科保健推進のためのアンケート調査
- 3 歯科口腔保健状況に関するアンケート調査結果  
(介護老人保健施設、介護老人福祉施設)
- 4 歯科口腔保健状況に関するアンケート調査結果  
(障がい児(者)施設)
- 5 歯科保健基本計画のあゆみ
- 6 第3次熊本市歯科保健基本計画策定の経過
- 7 健康くまもと21推進会議運営要綱
- 8 健康くまもと21推進会議部会運営要領
- 9 健康くまもと21推進会議委員名簿
- 10 歯科口腔保健データの推移
- 11 第3次熊本市歯科保健基本計画の期間延長と中間評価

## 1 健康づくり推進課、各区役所保健子ども課等が実施する事業

1	妊婦歯科健診（妊産婦健康相談）
概要	<p>1. 妊産婦健康相談時の歯科健診・歯科相談 各区役所保健子ども課で親子（母子）健康手帳の交付時に歯科健診と歯科保健指導を実施。 （相談日は各区ごと週1回開催。相談日以外にも親子手帳交付時に、随時対応している）</p> <p>&lt;対 象&gt; 市内に住む妊産婦及びその家族</p> <p>&lt;内 容&gt; 歯科健診・相談・歯科保健指導（栄養相談、保健相談も併設実施）</p> <p>2. 地域歯科医院における妊婦歯科健診（H16. 6月～市歯科医師会へ委託） 各区役所で歯科健診を受けていない妊婦を対象に、歯科医療機関で歯科健診と歯科保健指導を実施。</p> <p>&lt;費 用&gt; 無料</p>
2	もうすぐパパママ教室 <span style="float: right;">（平成28年度熊本地震により休止）</span>
概要	<p>妊娠中や育児に必要な「健康・子育て情報」を提供し、出産・育児不安の軽減及び育児の仲間づくりを目的として、区役所保健子ども課が実施。</p> <p>&lt;対 象&gt; 妊婦とパートナー</p> <p>&lt;内 容&gt; 保健師、栄養士、歯科医師・歯科衛生士等の講話等</p>
3	育児教室 <span style="float: right;">（平成28年度熊本地震により休止）</span>
概要	<p>子どもが健やかに育ち、親の育児不安を軽減するために各区役所保健子ども課が実施。</p> <p>&lt;対 象&gt; 生後4～5か月児（第1子）と保護者</p> <p>&lt;内 容&gt; 保健師、栄養士、歯科医師・歯科衛生士等の講話等</p>

4	育児相談
概要	<p>乳幼児の健全な発育支援や親の育児不安を軽減するため、個別相談を各区役所保健子ども課が実施。</p> <p>&lt;対 象&gt; 乳幼児と保護者</p> <p>&lt;内 容&gt; 問診、計測、保健相談、栄養相談、歯科相談、歯みがき指導など</p>

5	ピカピカ・カミカミ教室 <span style="float: right;">(平成28年度熊本地震により休止)</span>
概要	<p>むし歯予防を目的とした食と口の健康づくりに関する健康教育を各区役所保健子ども課が実施。</p> <p>&lt;対 象&gt; 1歳～1歳5か月児と保護者</p> <p>&lt;内 容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科講話（むし歯予防のポイント）や仕上げみがきの実習など</li> <li>・ 栄養講話（離乳の完了とおやつについて）とおやつ試食など</li> </ul>

6	1歳6か月児歯科健康診査（1歳6か月児健康診査）
概要	<p>1歳6か月児健康診査時に、歯科健康診査及び歯科相談を実施。</p> <p>&lt;対 象&gt; 満1歳6か月～満2歳に達しない幼児</p> <p>&lt;内 容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科健康診査・相談、フッ化物塗布（無料）</li> <li>・ 計測、問診、診察、栄養相談、保健相談</li> </ul>

7	3歳児歯科健康診査（3歳児健康診査）
概要	<p>3歳児健康診査時に、歯科健康診査及び歯科相談を実施。</p> <p>&lt;対 象&gt; 満3歳6か月～満4歳に達しない幼児</p> <p>&lt;内 容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科健康診査・相談</li> <li>・ 検尿、計測、問診、診察、栄養相談、保健相談</li> </ul>

8	障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防（歯っぴー）事業
概要	<p>障がい児及び発達に不安のある児のむし歯を予防し、食べる、話すなどの口腔機能の発達を促すことを目的として実施。</p> <p>&lt;対 象&gt; 身体障害者手帳・療育手帳を持つ未就学児や子ども発達支援センターが発行する「歯の健康手帳」を保持する未就学児</p> <p>&lt;内 容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物塗布、口腔衛生指導等</li> </ul>

9	フッ化物洗口
概要	<p>フッ化物洗口を実施する保育園や幼稚園、小学校に対して技術支援を行う。</p> <p>&lt;内 容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物洗口へ理解を深めるための説明会（保護者や職員対象）</li> <li>・子どもへの歯みがき指導やフッ化物洗口指導等</li> <li>・職員に対するフッ化物洗口剤の管理や、使用方法、実施手順の説明等</li> </ul>



10	歯たちの健診
概要	<p>生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔保健意識の向上を目指し、学園祭等で歯科健診、相談等を実施。</p> <p>(大学で実施する場合は熊本市歯科医師会と各区役所保健子ども課が実施)</p> <p>&lt;対 象&gt; 市に居住又は通勤、通学する18歳以上29歳以下の方</p> <p>&lt;内 容&gt; 歯科健診、相談等</p> <p>&lt;実施場所&gt; 市内の大学等及び各区役所保健子ども課</p>

11	8020表彰
概要	<p>満80歳以上で自分の歯を20本以上保有する市民のうち各区役所保健子ども課で実施する8020表彰の事前審査を受けた方を表彰する。</p> <p>(熊本市と熊本市歯科医師会が実施)</p> <p>&lt;対 象&gt; 満80歳以上で、自分の歯を20本以上保有している市民</p> <p>&lt;事前審査&gt; 各区役所において歯科健診を実施し、残存歯を確認</p> <p>&lt;表 彰&gt; 熊本市民健康フェスティバル会場等において表彰</p>

12	健康くまもと21推進会議及び歯科保健部会
概要	<p>歯科保健基本計画の評価及び進行管理を行うとともに、歯と口の健康づくりに関する総合的な施策展開を図るため、以下の項目について協議を行う。</p> <p>(1) 歯と口の健康づくりと疾病予防対策に関すること。</p> <p>(2) 歯科保健の普及啓発に関すること。</p> <p>(3) 医療・保健・福祉及び教育等の関係機関との機能連携等に関すること。</p> <p>(4) その他歯科保健の推進に関すること。</p> <p>&lt;委員の構成&gt;</p> <p>熊本大学大学院、熊本県立大学、崇城大学、熊本市医師会、県精神科協会、市歯科医師会、市薬剤師会、県看護協会、県栄養士会、県歯科衛生士会、市地域包括支援センター連絡協議会、全国健康保険協会熊本支部、熊本産業保健総合支援センター、市保育園連盟、市私立幼稚園・認定こども園協会、市小学校校長会、市PTA協議会、熊本商工会議所、熊本労働基準監督署、市民生委員児童委員協議会、市スポーツ推進委員協議会、市食生活改善推進員協議会、市8020健康づくりの会、市食品衛生協会、(株)熊本地方卸売市場、市農業協同組合、県漁業協同組合連合会、健康まちづくりを推進する区の代表</p>

13	8020推進員育成事業
概要	<p>一般公募等で申込まれた方を対象に8020推進員育成講座を実施し、8020推進員を育成する。</p> <p>&lt;対 象&gt; 本市に居住または通勤、通学する18歳以上の者であり、講座修了後は継続的にボランティア活動を行う熱意を有する者</p> <p>&lt;内 容&gt; 8020推進員育成講座：修了単位 12単位（1単位は45分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8020運動と歯科保健事業について</li> <li>・口腔の健康について</li> <li>・全身の健康について</li> <li>・地域活動について</li> <li>・8020推進員活動について</li> <li>・合同研修会</li> </ul>

14	8020推進員地域活動支援事業
概要	<p>8020推進員による地域での歯科保健ボランティア活動に対して、健康づくり推進課や保健子ども課が、職員派遣等による専門的な技術支援や関係機関との連絡調整等を行い、自主的な地域における歯科保健活動を支援する。</p>

15	歯科健康教育
概要	<p>区役所や地域において歯科疾患の予防や口腔ケア等に関する健康教育を実施する。</p> <p>&lt;対 象&gt; 市民</p> <p>&lt;内 容&gt; 保育園、幼稚園、小学校等の児童・生徒及びその保護者や老人会等の集まりの中で歯科保健情報の提供や技術向上に関する講話や実技指導を実施する。</p>

16	歯科相談
概要	<p>区役所や地域において歯科相談（面接・電話・訪問）を実施する。</p> <p>&lt;対 象&gt; 市民</p>

17	歯と口の健康週間
概要	<p>歯と口の健康に関する正しい知識の普及啓発とともに、歯科疾患の予防や早期発見・早期治療等を徹底し、市民の健康の保持増進に寄与することを目的として、毎年5～6月に市歯科医師会や熊本市8020健康づくりの会等の関係団体と協働により、歯と口の健康づくりに関する情報提供や啓発を実施</p> <p>(※国が定める歯と口の健康週間：6月4日～6月10日)</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1) 無料歯科健診・相談 「歯と口の健康週間」の期間中、熊本市歯科医師会会員診療所において、無料で歯科健診や歯科相談を実施。</p> <p>(2) 「歯の祭典」の開催 歯科相談や歯みがき指導、口臭測定、フッ化物洗口体験や口のゲーム・クイズ等、歯と口の健康づくりに関する啓発イベントを実施。 主催：市歯科医師会 共催：熊本市、熊本市歯科技工士会、熊本県歯科衛生士会熊本市支部 協力：熊本市8020健康づくりの会</p> <p>(3) 地域における啓発 地域の育児サークルや保育園、幼稚園、学校等において、歯科保健指導や歯科相談、歯科健康教育等を各区役所保健子ども課が実施。</p> <p>(4) 市役所1階ロビーにおける啓発 むし歯や歯周病予防、歯と口の健康づくりに関するパネル展示を市が実施。</p>
18	地域歯科保健研修会
概要	<p>地域における歯科保健医療の向上及び知識の普及啓発を目的として、年に1回、研修会を開催し、情報交換と連携強化を図る。</p> <p>&lt;対 象&gt; 地域において歯科保健に関わる関係者 (歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・8020推進員など)</p> <p>&lt;内 容&gt; 重点施策に沿った内容の研修会を開催。</p>
19	市民健口講座 (平成28年度熊本地震により休止)
概要	<p>むし歯や歯周疾患などの歯科疾患がない社会を目指して、広く市民に自己管理能力の向上と総合的な歯と口腔の健康づくりを進めることを目的として、毎年1回実施。</p> <p>&lt;対 象&gt; 一般市民</p> <p>&lt;内 容&gt; 歯と口の健康づくりに関する知識の普及啓発を目的として開催。</p>

## 2 熊本市歯科保健推進のためのアンケート調査

### 1 目的

本市の歯科保健に関する課題やその解決策について、熊本市歯科保健推進協議会委員及び関係各課の意見を集約し、情報共有していくとともに、協議会委員の所属団体等との協働による取り組みの推進を図ることを目的としてアンケート調査を行った。(平成24年度)

なお、取りまとめた意見を勘案し、第3次熊本市歯科保健基本計画の「各ライフステージにおける対策の推進」及び「歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり」の各項目の中で記述を行っている。

### 2 方法

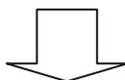
デルファイ法(3回の調査票のやり取り)

※ 参考 デルファイ法とは、関係者の様々な意見を集約する方法で、他の関係者が課題と思うことなどを共有する手法。

熊本市民が歯科疾患を予防するとともに、歯科保健を推進するために障壁となっている課題や日常の活動の中での困りごとをまとめる。その課題に、優先順位をつけるとともに、課題への対応策を見出す。

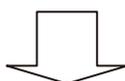
#### 1回目の調査

日常の職務や活動の中で、歯科保健の課題と思っていること。その理由もあわせて5つ上げてもらった。



#### 2回目の調査

協議会委員の所属団体等からいただいた意見190項目の課題について、内容が近いものを集めて26項目に整理を行った。その26項目の中から、優先度の高いものから順に7項目を選んでもらった。



#### 3回目の調査

選んでもらった課題を1位は7点～7位が1点で点数化し、点数が高かった順に並べた。また、3回目は第2回アンケートの順位のままで良いか、他の人のご意見も参考に再度検討していただき、最終順位付けの投票を行った。

3 結果 最終的な課題の上位10位は以下のとおりであった。

順位	第3次調査結果 優先順位の高い課題	得点人数	得点
1位	子どものむし歯や歯肉炎予防に関する保護者への情報発信	21	114
2位	楽しく高齢世代を生きるために口腔の健康が重要	18	99
2位	フッ化物に関する正しい情報が市民へ行き届いていない	21	99
4位	小学校、中学校、高校でのむし歯予防や歯肉炎予防のための健康教育の充実	17	75
5位	歯周病が健康に影響する深刻さを知らない	13	57
6位	定期的に歯科健診を受ける人が少ない	12	26
6位	食習慣が乱れている	7	26
8位	健康課題における歯の優先順位が低い	10	25
9位	子どもたちの噛む力が弱くなっている	6	24
10位	障がい児(者)への歯科予防対策が不十分	7	23

※ 1位～10位までの課題の対応策は、「各ライフステージにおける対策の推進」及び「歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり」の中の市民、関係機関・団体、行政が取り組むための指針の中で記述を行っている。



### 3 歯科口腔保健状況に関するアンケート調査結果（介護老人保健施設、介護老人福祉施設）

#### I 貴施設の入所者の方の状況について

##### 1 貴施設の入所者定員

入所定員	施設数	構成割合
50人未満	3	5.3%
50～100人	47	82.5%
100～150	7	12.3%
150以上	0	0.0%
計	57	100.0%

##### 2 入所者の構成人数

年齢区分	要介護1・2	要介護3	要介護4	要介護5
75歳未満	61	51	59	77
75～84	173	188	287	287
85歳以上	447	486	703	705

#### II 貴施設での歯科保健管理及び歯科医療について

##### 1 歯科医師・歯科衛生士の配置状況

内容	施設数	割合
いる	20	35.1%
いない	37	64.9%
計	57	100.0%

##### 1-1 配置されている職種及び雇用形態

歯科医師			歯科衛生士		
常勤	非常勤	嘱託	常勤	非常勤	嘱託
1	1	10	8	4	6

##### 2 歯科医師による歯科検診を受ける機会はあるか

内容	施設数	割合
ある	45	78.9%
まったくない	12	21.1%
計	57	100.0%

##### 2-1 歯科検診を受ける機会の状況

回数	施設数	割合
年1回	9	20.0%
年2回	2	4.4%
年3回以上	4	8.9%
不定期	10	22.2%
その他	20	44.4%
合計	45	100.0%

その他

- ・ 疾病の方のみ実施している。
- ・ 本人、家族の希望時、又は必要時に行っている。
- ・ 毎週1・2回、毎月4～8回行っている。
- ・ 週1回実施している。（2施設）
- ・ 連携歯科にて、本年初、1回のみ実施。今後の計画は現在検討中。
- ・ 週に1度訪問してもらい、必要な方は随時診てもらっている。
- ・ 口腔内や義歯等に異常を認めた場合は実施している。
- ・ 月1・2回、口腔ケアを受ける際に検診も行っている。
- ・ 長期的な入所施設ではない為、利用者の要望で対応している。
- ・ 口腔ケア、義歯の作り直しなど、必要時に受けている。
- ・ 希望者のみ随時行っている。
- ・ 訴え、異常がある際に検診を行っている。
- ・ 月に1回訪問診療を行っている。
- ・ 全員対象ではなく家人希望者（時）のみ実施している。（2施設）
- ・ 1・2週間に1回歯科往診してもらい、1回に3・4名程診療してもらっている。
- ・ 今後、検診を予定している。
- ・ 月3回往診があり、気になる方を診てもらっている。
- ・ 本人か家族の希望に応じ、週1回実施している。

### 3 歯科医師、歯科衛生士から歯科保健指導を受ける機会はあるか

内容	施設数	割合
ある	50	87.7%
まったくない	7	12.3%
計	57	100.0%

#### 3-1 歯科医師、歯科衛生士から歯科保健指導を受ける機会の状況

内容	施設数	割合
年1回	5	10.0%
年2回	2	4.0%
年3回以上	21	42.0%
不定期	3	6.0%
その他	19	38.0%
無回答	0	0.0%
合計	50	100.0%

#### その他

- ・口腔ケアに関する問題点を挙げ、月1回衛生士から指導を受けている。
- ・定期健診時、歯科受診時及び随時。
- ・1・2週間に1回、3・4名程に口腔ケア指導をしてもらっている
- ・週1回歯科衛生士による口腔ケアが行われている。
- ・月に1回の訪問診療で必要な方のみ行っている。
- ・理解力があり、自立されている方に行っている。
- ・本人、家族の希望により週1回行っている。
- ・必要に応じ依頼している。
- ・必要時
- ・歯科受診時
- ・毎週1・2回、毎月4～8回行っている。
- ・常勤歯科衛生士が清掃状態をチェックし、都度実施している。
- ・日々歯科衛生士による口腔ケアを行い、必要に応じご本人、又はご家族に指導を行っている。
- ・治療時、必要時に指導してもらっている。
- ・個別に対応している。
- ・口腔ケア時、開口が悪かったり拒否が強かったりした方に対し、適切な磨き方等を必要に応じて随時、相談を行っている。
- ・入所時に全員検診し、途中で異常があればその時に対応している。
- ・口腔ケア時に不良がある場合、その都度指導を受けている。
- ・本人、家族が希望される場合や職員による口腔ケアが困難な方、歯周病等の方に対し行っている。
- ・入所したら必ずモニタリング、アセスメントを行い、全ての方に対応している。(月に数回)
- ・往診時に指導を受ける事がある。
- ・3か月に1回、書面にて助言を頂いている。必要に応じて受診して頂いている。

### 4 入所者の歯科検診・歯科保健指導以外のむし歯や歯周病の予防のための取り組みをしているか

内容	施設数	割合
している	53	93.0%
していない	3	5.3%
無回答	1	1.8%
合計	57	100.0%

#### 4-1 歯科検診・歯科保健指導以外の取り組みの状況

内容	施設数
食後歯磨きの時間をとっている	48
職員が歯磨きの状態をチェックしている	36
定期的にフッ化物洗口をしている	49
定期的にフッ化物塗布を受けさせている	50
職員への歯科保健に関する研修会の開催	28
その他	4

#### その他

- ・状態に合わせて歯科受診を勧め対応している。
- ・歯科医師に口腔ケアに関する勉強会を開催して頂いた。
- ・毎月、歯科医師からスタッフへの指導がある。
- ・外部研修会への参加。

5 むし歯などの歯科治療が必要となったときの対応状況（複数回答）

内容	施設数
職員が近隣の歯科医院へ連れて行く	13
近隣の歯科医院に往診を依頼する	30
施設内（または併設）の歯科で治療	7
家族または本人に受診を勧めるのみ	0
特に対応したことはない	0
その他	23

その他

- ・ 家族同伴にて通院を行う。
- ・ 協力医療機関による歯科往診。
- ・ 週1回、歯科医師が往診しているので、その際に受診。
- ・ 協力歯科医院の歯科医師による往診。
- ・ 嘱託の歯科医師を受診される。
- ・ 家族がかりつけの歯科医院へ連れていかれる。
- ・ かりつけ歯科医師に相談をとり、往診してもらえるかを尋ねている。
- ・ 家族にその旨を伝えており、外出されることもある。
- ・ 定期的な往診する歯科医師に治療をしてもらっている。
- ・ 協力歯科医療機関からの往診。
- ・ 協力歯科医院による往診。
- ・ 訪問歯科に診療を依頼する。
- ・ 嘱託契約を結んだ歯科医師の往診。
- ・ 必要時は定期的歯科往診時に家族の了解のもと受診している。
- ・ 歯科の往診をもらっているが、時間の都合やスタッフの人数の問題もあり1回で3名程しか診療ができない状況。スタッフ全体への口腔ケア指導。
- ・ 協力歯科医院へ治療を依頼する。
- ・ 往診で対応が困難な場合は歯科医院へ連れて行く。

6 歯や口のことにに関して、問題を感じることはどの程度ありますか

内容	施設数	割合
大変ある	9	15.8%
ややある	35	61.4%
あまりない	12	21.1%
まったくない	0	0.0%
その他	1	1.8%
合計	57	100.0%

- あまりない ・ 時々かかりつけ医院から往診で来院される歯科衛生士さんの口の中のチェックが担当の方によって違いがあるような気がする。
- ややある ・ 歯肉がやせて義歯が合わなくなってしまう。なかなか口を開けてもらえない時。
- ややある ・ 意識障がい者の方の口腔ケア、特に開口困難時・認知力低下に伴う嚥下困難時。歯肉が弱くなり義歯作成を繰り返すなど。
- その他 ・ 開口制限、下顎脱臼、口臭など。又、家族の理解（了解）がなく治療出来ない場合が残念である。

7 貴施設での歯科保健活動は入所者の方のニーズを満たしていると思いますか

内容	施設数	割合
十分満たしている	7	12.3%
ある程度満たしている	36	63.2%
やや不足している	10	17.5%
まったく不足している	1	1.8%
特に必要性を感じない	0	0.0%
その他	2	3.5%
無回答	1	1.8%
合計	57	100.0%

- その他 ・ 不十分な点もあるが、積極的に取り組んでいる。
- ・ 施設内で口腔ケア委員会を設置している。

### 7-1 不足していると考えられる点

- ・入所時、往診療の歯科医師に口腔内チェック(検診)をしてもらうが、日頃の口腔ケアは全利用者を対象にしていない。入所時や不具合があった時以外にも・定期的に口腔内チェックが細やかに行えれば良いと思う。
- ・全員の口腔ケアは毎日行っているが、これで十分かどうか考慮中
- ・歯科衛生士が今年の半ばまでおらず、口腔内の定期的なチェックをし、アセスメントするスタッフがいなかった。(8/1から配置)
- ・スタッフの口腔ケアに対する知識の不足。
- ・歯科に関する勉強会が少ない。
- ・開設間もない施設なので、ニーズを把握できていない。
- ・食後に歯磨きの時間があり、職員が行ってはいるが十分ではない。(ゆっくり時間を取れない。)
- ・嚥下の検査など実施していない。できれば、S T (言語聴覚士)による検査として、咀嚼、嚥下のスムーズな流れを把握していく事が非常に重要。
- ・口腔内に問題が生じると栄養状態が悪くなり全身状態に悪影響が出るので、早い段階での治療が必要。
- ・無関心、非協力(または、拒否)など家族の協力が得られず、最低限の健診や治療ができないのが残念。現在、協力歯科医院の往診(週1回)で対応している。
- ・入所者に対して直接的な指導・実技習得できる状況にない。
- ・書面でのやりとりでは十分なケアを提供できない
- ・ニーズを見極める職員の能力不足がある。
- ・入所時点で既に重度の歯周病であったり、義歯作成が出来ない状態であったりする。歯周病については改善の余地があるものの、口腔機能の回復は困難であり、維持が精一杯である。また、そういった状態の利用者の家族も、これ以上を望まれない方がほとんどである。このような方々へのメニューが少ない。
- ・歯科医師による往診をしてもらっているが時間の都合やスタッフの人数の関係もあり、1回で3名程度しか診察ができない状況にある。
- ・スタッフ全体への口腔ケア指導。
- ・口腔ケアについては、口をなかなか開けられない利用者様に対するケアの難しさを感じる。

### Ⅲ 貴施設の併設施設の有無

内容	施設数	割合
ある	41	71.9%
ない	15	26.3%
無回答	1	1.8%
合計	57	100.0%

#### Ⅲ-1 併設施設に歯科の有無

内容	施設数	割合
ある	5	12.2%
ない	36	87.8%
計	41	100.0%



## 4 歯科口腔保健状況に関するアンケート調査結果（障がい児（者）施設）

### 1 貴施設の入所者定員

入所定員	施設数	構成割合
50人未満	5	27.8%
50～100人	13	72.2%
100～150	0	0.0%
150以上	0	0.0%
計	18	100.0%

### 2 入所者の構成人数

	知的障害	身体障害	精神障害	その他
18歳未満	131	26	3	1
18～64歳	488	312	40	0
65歳以上	48	62	2	0

### II 歯科医師・歯科衛生士の配置状況

内容	施設数	割合
いる	4	22.2%
いない	14	77.8%
計	18	100.0%

#### 1-1 配置されている職種及び雇用形態

歯科医師			歯科衛生士		
常勤	非常勤	嘱託	常勤	非常勤	嘱託
0	0	3	0	0	2

#### 2 歯科医師による歯科検診を受ける機会はあるか

内容	施設数	割合
ある	16	88.9%
まったくない	2	11.1%
計	18	100.0%

#### 2-1 歯科検診を受ける機会の状況

回数	施設数	割合
年1回	7	43.8%
年2回	2	12.5%
年3回以上	0	0.0%
不定期	2	12.5%
その他	5	31.3%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

・学校通学生は、学校での検診で施設では受けていない

その他

- ・週一回検診を実施している。
- ・必要な時、歯科医に相談や検診を受けたりする等 入所者の方々の状態に応じている。
- ・定期的に交替で検診をしている。
- ・H18年、19年には一回ずつ全員検診を受けたこともある。軽度の利用者は定期的に通院し、重度の方は数名の方が検診を受けている状況。
- ・歯科医が訪問し、年1回の定期検診と必要に応じ診療を受けている。

#### 3 歯科医師、歯科衛生士から歯科保健指導を受ける機会はあるか

内容	施設数	割合
ある	14	77.8%
まったくない	4	22.2%
計	18	100.0%

#### 3-1 歯科医師、歯科衛生士から歯科保健指導を受ける機会の状況

内容	施設数	割合
年1回	5	35.7%
年2回	1	7.1%
年3回以上	1	7.1%
不定期	1	7.1%
その他	6	42.9%
無回答	0	0.0%
合計	14	100.0%

- その他
- ・個別指導を行っている。
  - ・週1回行っている。
  - ・必要な時、歯科医に相談や検診を受けたりする等 入所者の方々の状態に応じている。
  - ・検診時に実習生が来られる時に指導は行っている。
  - ・週1回歯科衛生士による指導及び支援、職員への指導やアドバイスを受けている。

4 入所者の歯科検診・歯科保健指導以外のむし歯や歯周病の予防のための取り組みをしているか

内容	施設数	割合
している	17	94.4%
していない	1	5.6%
合計	18	100.0%

4-1 歯科検診・歯科保健指導以外の取り組みの状況（複数回答）

内容	施設数
食後歯磨きの時間をとっている	13
職員が歯磨きの状態をチェックしている	15
定期的にフッ化物洗口をしている	2
定期的にフッ化物塗布を受けさせている	1
職員への歯科保健に関する研修会の開催	4
その他	2

- その他
- ・職員全体での歯磨きの工夫、衛生面に取り組んでいるので意識は高い。
  - ・園内研修の時に講師として招くことがある。

5 むし歯などの歯科治療が必要となったときの対応状況（複数回答）

内容	施設数
職員が近隣の歯科医院へ連れて行く	13
近隣の歯科医院に往診を依頼する	1
施設内（または併設）の歯科で治療	0
家族または本人に受診を勧めるのみ	1
特に対応したことはない	0
その他	7

- その他
- ・週一回の訪問歯科をしている。
  - ・入所者の方に対して個別に必要な治療体制を歯科医と相談している。
  - ・本人が希望された場合若しくは治療が継続して必要な場合は、定期往診を週に1度対応している。
  - ・送迎可能な歯科医院へ依頼をしている。
  - ・熊本県歯科医師会口腔保健センターに受診している。
  - ・訪問歯科治療を週1回利用している。
  - ・2週間毎に定期的な訪問歯科医師の治療を受けている。

6 入所者の歯や口の問題を感じることはどの程度あるか

内容	施設数	割合
大変ある	4	22.2%
ややある	10	55.6%
あまりない	3	16.7%
まったくない	0	0.0%
その他	1	5.6%
合計	18	100.0%

- その他
- ・問題のある入所者の方々には個別で歯科医と相談しているため、問題点はその度、解決している。

7 貴施設での歯科保健活動は入所者の方のニーズを満たしていると思いますか。

内容	施設数	割合
十分満たしている	3	16.7%
ある程度満たしている	12	66.7%
やや不足している	3	16.7%
まったく不足している	0	0.0%
特に必要性を感じない	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	18	100.0%

- その他
- ・毎日、職員が入所者の方々の歯の状態を観察しているため訴える事が出来ない方もそれぞれに治療を受け入れられるようにしている。
  - ・軽度の方に関しては、ある程度満たしていると思いますが、重度の方に関しては、不足していると考えます。(訴えることがうまくできないので、汲みとれない部分があります。)

## 7-1 不足していると考えられる点はどのような事か

- ・義歯の調整が不完全の方、義歯の作成や修理が済んでない方がいる。
  - ・拒否のある入所者へのアプローチをどうするか。
  - ・口を開けない人の歯みがきの仕方が自己流、同じやり方で実施されていない
  - ・歯みがきが毎食後出来ていない（1～2回/日の人が多い）、
- 又、自分で歯みがきされる利用者の歯みがきが十分出来ているか確認も不十分な状況である
- ・定期健診がない（5～6年前から中止となっている）為、問題がおこってからの受診となっている
  - ・半数以上の利用者さまは自分でみがく事ができない方で一人一人に時間をとる事ができず、十分な歯磨きができずみがき残しがみられる

### Ⅲ-1 入所者の食事介助に関して、問題を感じることはどの程度あるか。

内容	施設数	割合
大変ある	4	22.2%
ややある	6	33.3%
あまりない	8	44.4%
食事介助が必要な者がいない	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	18	100.0%

（個別意見） 大変ある→ ・病態に応じて機能低下がおこり、介護中に飲み込めずムセがおこる場合もある。その度、問題点を感じることは多い。

### Ⅲ-2 食べたり飲んだりすることに問題のある入所者に、食べる機能(摂食機能)の維持・向上を図るための指導・訓練を実施しているか

内容	施設数	割合
実施している	14	77.8%
必要性は感じているが実施していない	3	16.7%
必要性を感じていないので実施していない	1	5.6%
その他	0	0.0%
計	18	100.0%

#### Ⅲ-2-1 実施されている指導・訓練の内容状況について(複数回答)

内容	施設数
食環境(姿勢や食具などの)指導	15
食内容(食形態・物性など)の指導	13
間接機能訓練(嚥下体操や器具を使ったトレーニングなど)	6
直接機能訓練(実際の食品を使った訓練)	3
その他	3

その他

- ・医師に相談し、嚥下の問題あればムース食やスプーンなどを考えたり、体験もその都度おこなっている。
- ・週1回、通院を行い、現在2名対象に言語聴覚士の指導を受けています。
- ・医師の指示によりセラピスト（主に言語聴覚士）が実践・評価を行い、支援スタッフに伝達している。

#### Ⅲ-2-2 実施していない理由の状況

内容	施設数
実施できる人材(専門職)がいない	3
評価や実施方法など知識・技術が不足している	1
実施するスペース・設備がない	0
時間が確保できない	0
他の機関が実施すべきだから	0
その他	0